

おおだ農援塾 産直やさいづくり講座

自分でやさいを作って、産地直接販売活動に参加しましょう。

1. 産直について

少ない面積のやさい畑でも、ていねいな管理をすれば、販売出来るだけのやさいは作れます。産直では、自分でつくったやさいを袋詰して、自分で値段をつけて店に並べます。しばらくしてから店を覗いて、自分の品物が売れているのを見るのはうれしいものです。

2. 産直の店について

大田市にはJA関係で、「JAグリーンおおだ」（長久町）、「すいせんの里」（温泉津町）、道の駅ロード銀山内に「ぎんざん市場」（久手町）があります。また、希望すれば阪急オアシス店（兵庫県尼崎市）にも出荷できます。

3. 講座で作る品目について

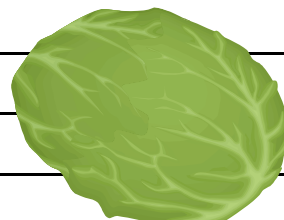
春まきやさい：なす、カボチャ、キャベツで6月から9月までの収穫です。

夏まきやさい：大根、水菜、ジャガイモで、10月から1月までの収穫です。

選択品目：要望のある品目につきましては、作り方を指導します。

4. 講座の内容について

| 時 期 | 内 容 |
|-----------|--------------------------------|
| 4月中 | やさいの栽培管理について、苗づくり |
| 4月下 | 春まきやさい畑の準備（肥料散布、畝立て、ビニールマルチ張り） |
| 5月中 | やさい苗の定植 |
| 5月下～6月 | 生育状況にあわせた追肥、防除の実施 |
| 6月中 | 産直店舗や集出荷施設の視察 |
| 6月下～7月上 | 春まきやさいの収穫、および産直出荷 |
| 8月下 | 春まきやさいの反省会 |
| 9月上 | 夏まきやさい畑の準備（肥料散布、畝立て、ビニールマルチ張り） |
| 9月下 | やさい苗の定植 |
| 10月上 | 生育状況にあわせた追肥、防除の実施 |
| 10月中～11月上 | 夏まきやさいの収穫、および産直出荷 |
| 12月上 | 堆肥づくり |
| 2月下 | 土づくりの実習 |
| 3月上 | 夏まきやさいの反省会 |



○講義はJA本所で行い、実習は久利町の実習圃場で行います。

○募集対象はJA石見銀山の産直会員となって野菜を栽培し、大田市内の直売所等への販売を目指す方

○種子代および苗代は受講者の負担とさせていただきますが、販売代金等は受講者に配分します。

おおだ農援塾柿づくり講座

定年後の第2の人生、柿づくりを考えてみませんか。

1. 西条柿栽培はここに注目

大田市では、従来より西条柿の生産が行われており、生産組合の活動やJAの対応により販売の体制が整っています。栽培経費などの初期投資が少なく取り組みやすいうえ、市内では条件が合えばすぐ収穫できる柿園の斡旋も行います。柿は通勤農業（30分は楽勝）が可能です。

2. 4年目から収穫、7年目でピークに到達

年次別収量変化 10a（1000㎡）当

| 植え付け後の年数（年） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-------------|---|---|---|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 収穫量（kg） | 0 | 0 | 0 | 100 | 500 | 1,000 | 1,500 | 1,500 | 1,500 |

1年目：植え付けです。 2～3年目：誘引を行って樹の形をつくります。草刈は年3回程度、剪定、施肥を行います。4年目以降：年々収量が増えます。年7から8回の防除や、蕾や果実を間引く作業が加わり、少し忙しくなります。

3. 収益性を見てみましょう

10a（1000㎡）を栽培した場合、年間労働時間250時間程で、見込まれる所得は30万円です。よく出来れば単純に時給1,200円ということになります。

4. 就農にあたって

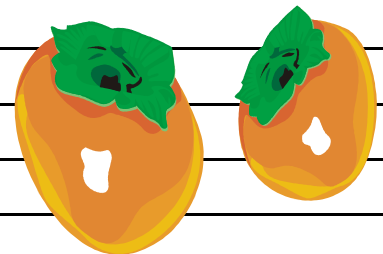
ステップ1：柿づくりを体験してみる。→農援塾柿づくり講座で！

ステップ2：農地（柿園）を探す。→農地は生産組合やJA、市でも探します。

ステップ3：栽培を開始する。→栽培技術等の相談は、生産組合や県、JAで支援します。

5. 講座の内容について

| 時期 | 内容 |
|--------|---------------------|
| 4月上 | 柿栽培の一年 |
| 4月下 | 病虫害防除 摘蕾、摘果について |
| 5月 | 摘蕾実習 |
| 6月上 | 病虫害防除、防除実習 |
| 6月下 | 摘果実習 |
| 7月 | 新梢管理について、新梢管理及び摘果実習 |
| 8月 | 病虫害防除について、病虫害防除実習 |
| 9月 | 収穫方法、選果基準、脱渋方法 |
| 10～11月 | 収穫実習 |
| 12月 | 剪定について、施肥及び剪定実習 |



○講義は大田市長久町稲用にある農事組合法人事務所、実習も同じく稲用地内の柿園で行います。

○募集対象は管理者の居ない柿園の継承や、柿植栽を希望する方、農家の管理作業手伝いを希望する方。

○出荷調整資材費は受講者の負担とさせていただきますが、収穫物は受講者に配分します。